

# 平成24年 初夏の昆虫探し・森あそび報告・会報 Verda114号

平成24年6月10日(実施) NPO法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世

子供と一緒に自然に触れ合うことから、自然を知り、生き物に触れることで、命の大切さを感じ取ってもらおうと、毎年初夏と夏、秋に行なっている観察会。

森の中を生き物を探したり、採集しながら歩き、外来生物などを学びながら、最終目的地のドングリの森に集まります。ドングリの森の出来るまでのお話は、紙芝居で解りやすく紹介。この時期の昆虫は、かえったばかりで小さく見つけにくいですが、かつて昆虫少年だったお父さん達が大活躍で、小さなバッタ、キリギリス類や蝶を発見。

広い樹林地や草地で自由に生き物探しができるこのような場所は、他にはない特徴で貴重な場所です。又公園の中に、ドングリの森のような自然再生の森づくりが進んでいる所ももう一つの特徴です。その森の案内役は、当会の自然観察指導員達です。

主催：総合児童センター 共催・観察会企画指導：NPO法人和光・緑と湧き水の会



大きなユリノキに小さなナミテントウ発見



トチノキの葉は大きいね



切り株にキノコが沢山



春の代表的野草ヒロハアマナの案内



好天の草原で昆虫探し森あそび



ドングリの森の紙芝居初公開

自然がいっぱいドングリの森探検隊



葉っぱの裏には卵からかえったばかりのカメムシの幼虫



大人も親子も一緒に大勢で森の奥まで探検し、生き物に出会い、自然を身近に体験できた一日でしたね。